

令和5年度どさん子元気アップチャレンジ「ダブルダッチ全道大会」実施要項
(令和5年6月28日 学校教育局健康・体育課長決定)

1 目的

児童生徒が手軽な運動の実践を通して、運動に親しみながら体力の向上を図るとともに、仲間と協力して運動に取り組む中で、主体的に楽しさや喜びを味わおうとする態度を身に付ける。

2 対象

道内の公立小学校及び中学校、義務教育学校（前・後期課程）、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部、中学部）に在籍する児童生徒

3 実施種目

- (1) 「一人でトライ」
- (2) 「みんなでトライ」

4 実施内容

学校での学級や学年、異学年集団等による取組における記録を競う「学校部門」と、地域や少年団、部活動等での取組における記録を競う「地域・部活動等部門」の2部門を設定して実施する。

5 実施方法等

(1) 「一人でトライ」

ア 実施方法

- ・ロープを回す人は児童生徒のほか、教員も可とする。
- ・「はじめ」の合図で跳び始め、**60秒間**経過した時点で「終わり」の合図をする。
※ロープに入るまでの時間を含めて計測する。
- ・「終わり」の合図をした時点までの、跳躍に成功した回数の合計を記録する。
※失敗しても時間内は続けて行うことができ、失敗以降の回数も加算してカウントする。

イ 記録

跳んだ回数の合計を記録とする。

(2) 「みんなでトライ」

ア 実施方法

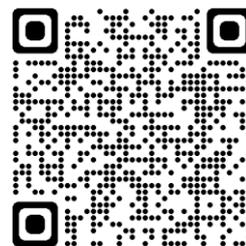
- ・同学年または異学年3人以上（跳ぶ人）でチームをつくる。なお、ロープを回す人はチーム以外の児童生徒のほか、教員も可とする。
- ・ロープの外で待機し、「はじめ」の合図で1人ずつにロープに入り跳び始める。
※ロープに入るまでの時間を含めて計測する。
- ・3回以上跳躍したらロープから抜け、次の人がロープに入る。
- ・**60秒間**経過した時点で「終わり」の合図をする。
- ・「終わり」の合図をした時点までに、3回以上跳躍をしてから抜けた人数の合計を記録する。
※失敗しても時間内は続けて行うことができ、失敗以降の人数も加算してカウントする。

イ 記録

3回以上跳躍をしてから抜けた人数の合計を記録とする。

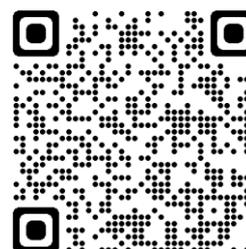
< 「一人でトライ」説明動画 >

<https://youtu.be/dnc.jRZfUqY>



< 「みんなでトライ」説明動画 >

https://youtu.be/QvDWgkyly_0



6 実施期間（「学校部門」・「地域・部活動等部門」ともに）

令和5年6月28日（水）～令和6年1月31日（水）

7 記録の申告方法

【学校部門】

- ・教職員の立ち会いのもとに実施されたものを公式記録とし、教職員が申告する。
- ・申告は1回のみとする。年間を通した体力向上の取組などにおいて本事業を活用する際は、学校におい

て実施期間の記録を蓄積し、最もよい記録を申告することに留意する。

- ・記録の申告は、「一人でトライ」においては、「様式4」の記録申告用紙に学校名、学年、氏名、登録名など、「みんなでトライ」においては、「様式5」の記録申告用紙に学校名、区分（小1、小2、小3、小4、小5、小6、中1、中2、中3、小：学年混合、中：学年混合）、チーム名など、必要事項を入力し、電子メールに添付して指定のアドレスに送信する。

【地域・部活動等部門】

- ・保護者やコーチ等の立ち会いのもとに実施されたものを公式記録とし、保護者やコーチ等が申告する。
- ・申告は1回のみとする。年間を通じた体力向上の取組などにおいて本事業を活用する際は、地域や学校等において実施期間の記録を蓄積し、最もよい記録を申告することに留意する。
- ・記録の申告は、「一人でトライ」においては、「様式6」の記録申告用紙に学校名や学年、氏名、登録名など、「みんなでトライ」においては、「様式7」の記録申告用紙に、学校名やチーム名、チームの概要（例：〇〇〇少年団、〇〇〇部、〇〇〇町内会、地域の小学校第5学年2名・小学校第6学年3名など）など、必要事項を入力し、電子メールに添付して指定のアドレスに送信する。

8 記録の申告期間

令和6年2月1日（木）～2月15日（木）

9 記録の申告先

次のアドレスあてメールにより申告する。

(Eメール)

申告先アドレス：**kyoiku.sports1@pref.hokkaido.lg.jp**

10 記録証等

【学校部門】

- ・小学校低学年（第1・2学年）、中学年（第3・4学年）、高学年（第5・6学年）、中学校（第1～3学年）、学年混合（小・中学校）の部ごとに、3位までのチームに記録証を授与する。
- ・健康・体育課は、申告のあったデータをもとに上位チーム者の記録証を作成し、当該市町村教育委員会に送付する。

【地域・部活動等部門】

- ・小学校（第1～6学年）及び中学校（第1～3学年）の部ごとに、3位までのチームに記録証を授与する。
- ・健康・体育課は、申告のあったデータをもとに上位チーム者の記録証を作成し、当該市町村教育委員会に送付する。

11 記録の公表

【学校部門】

- ・「ダブルダッチ全道大会」に申告された区分及び記録に基づき、小学校低学年（第1・2学年）、中学年（第3・4学年）、高学年（第5・6学年）、中学校（第1～3学年）、学年混合（小学校、中学校）の区分で北海道教育庁健康・体育課のWebページに公表する。

【地域・部活動等部門】

- ・「ダブルダッチ全道大会」に申告された区分及び記録に基づき、小学校（第1～6学年）及び中学校（第1～3学年）の区分で北海道教育庁健康・体育課のWebページに公表する。
- ・「ダブルダッチ全道大会」で公表する内容は、「学校名」、「学年」、「チーム名」、「記録」等とする。

12 その他

- ・実施に当たっては、児童生徒の健康状態を十分に確認するとともに、準備運動、実施場所や施設・用具の安全点検を確実に行うなど、事故防止に努める。
- ・使用するロープの長さや種類は自由とする。
- ・児童生徒が楽しみながら、自主的・継続的に取り組むことができるよう配慮する。
- ・各種目ともに学校部門は教職員等、地域・部活動等部門は保護者やコーチ等の立ち会いのもとに実施することを基本とする。ただし、やむを得ず児童生徒が計測する際には、時間や回数のカウントの誤りに留意させること。
- ・チーム名は公表を前提としていることから、学校等において適切な指導のもと設定する。